

手話は言語～デフムービーって何だろう～

第14回 さがの映像祭



2018.1/20土・21日

同志社大学 寒梅館ハーディーホール

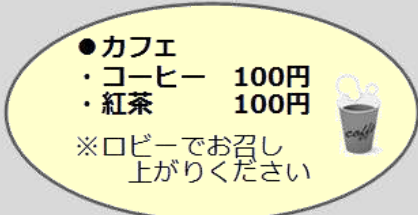
主催 第14回さがの映像祭実行委員会
後援 同志社大学障がい学生支援室、京都市、一般財団法人全日本ろうあ連盟
協賛 社会福祉法人全国手話研修センター、認定NPO法人障害者放送通信機構
特別協賛 公益財団法人京遊連社会福祉基金、京都市

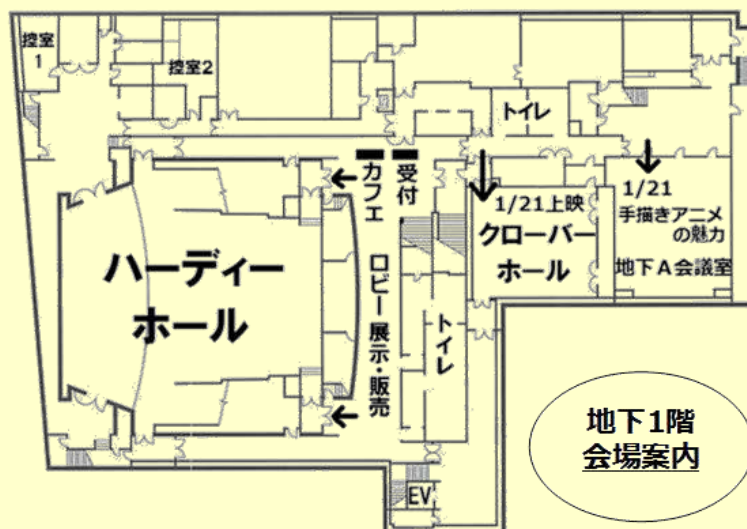
■お願い■

ホール内飲食禁止
(ロビーでは飲み物可)

**再入場時にはチケットの半券を
受付で見せてください。**


2018年1月20日（土）タイムスケジュール

ハーディーホール		ロビー	
★一次審査通過作品上映★		★左記以外の作品上映★	
13:00	開会あいさつ		
13:10	日本語のない男		
13:41	国の選択無形民俗文化財 「七夕綱」を作る地域で生きるろう者		
14:08	人物素描～小畠由佳理～		
14:39	毎日登山 いつまでも～山村賢二さん～		
14:55	休憩 20分		
15:00	特別企画①	15:00	恐怖！ソーシャルゲームSOS！
15:15	ろう映画監督 ふかがわかつぞう 深川勝三作品特別上映	15:04	元気いっぱい湖北みみの里へ
16:00	休憩 15分	15:15	おかだのぶらり旅
16:15	家計簿	15:26	大阪ろうあ会館 40年のあゆみ
16:40	つつうらうら～明るく楽しく生きる～	15:30	長崎ろうあミステリー
16:50	授業まであと5分		
16:54	時のいたずら～小人の世界～		
17:25	休憩 5分		
17:30	第47回全国ろうあ女性集会PRビデオ		
17:37	和歌山ろう学校被服科の～今物語～		
17:47	サウンドエフェクタ		



地下1階
会場案内

2018年1月21日（日）タイムスケジュール

ハーディーホール		クローバーホール		地下A会議室
10:00	開会あいさつ	10:00	各地の活動紹介	9:45～受付（先着40名）
10:05	毎日登山 いつまでも ～山村賢二さん～	10:08	第47回全国ろうあ女性集会PRビデオ	10:00～
10:21	人物素描～小畠由佳理～	10:38	長崎ろうあミステリー	ワークショップ
10:51	国の選択無形民俗文化財「七夕綱」 を作る地域で生きるろう者	10:49	元気いっぱい湖北みみの里へ	「手描きアニメ の魅力」
11:17	家計簿	11:00	つつうらうら～明るく楽しく生きる～	
11:41	日本語のない男	11:04	大阪ろうあ会館 40年のあゆみ	 講師 千光士義和氏 （アニメーション作家）
		11:16	バラエティー おかだのぶらり旅	
		11:20	恐怖！ソーシャルゲームSOS！	
		11:23	授業まであと5分	
		11:33	サウンドエフェクタ	
		11:42	和歌山ろう学校被服科の～今物語～	
			時のいたずら～小人の世界～	
昼休み （ホール：飲食禁止 ロビー：飲み物○ 地下A会議室：飲食○）				
13:00	特別企画② ユニバーサル上映 映画「聲の形」	参加者投票による「会場特別賞」 ●16作品から1つ投票しよう！ 1/21(日)13時まで ●1/21(日)15:30 表彰式で結果発表！		
15:15	休憩 15分			
15:30	第14回映像作品コンクール 審査発表・表彰式・審査講評			

※時間は当日の状況により前後する場合があります

ようこそ第14回さがの映像祭へ！

ごあいさつ

第14回さがの映像祭実行委員会
委員長 高田 英一

第14回さがの映像祭へ、ようこそお越しいただきました。

この映像祭では、聴覚障害者が制作した映像を公募・紹介することで、聴覚障害者の放送・映像活動を推進し、メディア社会への平等参加を図り、共に生きる社会の実現をめざしています。

手話の研究、普及等の事業を実施する社会福祉法人全国手話研修センターが、手話や字幕付き番組を制作・放送している認定NPO法人障害者放送通信機構及び映像関係者と協力してこの映像祭を2004年より開催してきました。

参加者のみなさまとともに「聴覚障害者にとっての映像文化とは何か」を考えながら、手話や聴覚障害者に関わる映像表現の質を高め、多くの方に「デフムービー」に親しんでいただき、聴覚障害者だけでなく広く聞こえる方々との交流と相互理解を深めたいと思っています。

本映像祭では、最前線で活躍されている国内外のろう映像作家や日本のろう映画の歴史を振り返るなど幅広い映像活動を紹介します。さらに全国のろう学校・特別支援学校、聴覚障害者情報提供施設等にも映像祭の作品コンクールへの参加を促し、後継者の発掘をめざします。

最後に本映像祭開催にあたり、多大なるご理解、ご支援をいただきました同志社大学、公益財団法人京遊連社会福祉基金、京都市に心からお礼を申し上げます。

それでは作品コンクール、映画上映、ワークショップなど、お楽しみください！

第14回さがの映像祭 実行委員会（敬称略・順不同）

- 委員長 高田 英一（認定NPO法人障害者放送通信機構理事長）
- 事務局長 小出 新一（社会福祉法人全国手話研修センター常務理事）
- 委員 大館 信広（映画監督、デフムービーエンターテインメントプロディア代表）
- 委員 横地 由起子（京都シネマ支配人）
- 委員 金山 智子（情報科学芸術大学院大学教授、同大学産業文化研究センター長）
- 委員 高山 正紀（一般社団法人京都府聴覚障害者協会副会長）
- 委員 中西 養子（京都手話通訳問題研究会事務局次長）
- 委員 徳永 泰子（京都府手話サークル連絡会事務局長）
- 委員 大宮 洋子（京都府手話サークル連絡会山城ブロック長）
- 委員 青山 真一（NPO法人全国聴覚障害者情報提供施設協議会 聴覚障害者の情報メディアに関する専門委員会）

第 14 回映像作品コンクール 応募作品リスト (1)

1 「家計簿」 まつたにたくや 松谷琢也 (奈良県) /23分 32秒/2017年



- **作品の内容** 家計簿をつけはじめて 30 年の間に色々な事があったお母さん。家計簿にも歴史があります。お母さんの思いは？

2 「恐怖！ソーシャルゲーム SOS！」 エスオーエス だろみとパンちゃんマン (大阪府) /3分 33秒/2017年



- **作品のテーマ** 現代、一大コンテンツとなっているソーシャルゲーム。しかし、そこには大きな落とし穴が…。
- **作品の内容** 一つの大きな市場となっているソーシャルゲーム。もちろん、そこにはろう者たちもゲームを楽しむ様子があった。しかし、そこには、おそるべき廃課金依存症、中毒のわなが待ち構えていた…。

3 「長崎ろうあミステリー」 いけだすぎお 池田杉男 (長崎県) /30分/2017年



- **作品のテーマ** ・長崎ろうあミステリー
・長崎に住むろうあ者として 歴史と現在
- **作品の内容** ・アメリカをゆくろうあ者 (2000年9月)
・紙芝居 (長崎手話物語、原爆とろうあ者) 2017年6月
・私の仕事 ・大型客船と長崎 (三菱最後の大型客船を見送る)
・原爆と手話の絵 (長崎県美術館)

4 「日本語のない男」手話あらん いまいあきと 監督：今井彰人 (東京都) /30分/2017年



- **作品の内容** 高田、25歳。フリーター。
ある日、仕事が内定し、会社に入社したもののすぐにクビになる。
これからどのように生きていくのか？
コメディードラマ。

5 「第47回全国ろうあ女性集会 PR ビデオ」 群馬県聴覚障害者連盟女性部



せき かずや
監督：関 一哉 /6分 33秒/2016年

- **作品の内容** 群馬県有名観光をプチ CG 映像を作成。
鹿児島での第 46 回全国ろうあ女性集会にて放映されました。
みんなにわかりやすく作ったものです。
至らないところがありますが、最後まで見ていただければ、幸いです。

6 「時のいたずら～小人の世界～」 とみろうえい ほりぐちたろう 監督：堀口太郎 (富山県) /29分 32秒/2017年



- **作品のテーマ** 「実写」を使った 3DCG アニメ
- **作品の内容** 時のいたずらがパワーアップして帰ってきた！
犬のいたずらにより次は小人の世界へ！どんな事が待ち受けているのだろうか？お楽しみください！ 出演者：17名

第 14 回映像作品コンクール 応募作品リスト (2)

7 「サウンドエフェクタ」^{いとうてつや}伊藤徹也 (大阪府) /9分30秒/2017年



●作品のテーマ 音とはなんだろうというようなこと

●作品の内容

ある朝、主人公は周りの音が聞こえないのに気づき、耳が聞こえなくなったのだろうかと不安になる。しかし、本当の原因は別にあるのだった…。

8 「人物素描～小畠由佳理～」^{じんぶつデッサン} ^{こばたけ ゆかり} ^{ろうほうしゅわえいが} ^{たに しんいち} 龔宝手話映画 監督：谷 進一 (京都府) /29分57秒/2017年



●作品のテーマ ろう者のスケッチ画家を密着取材：5年ぶりの復活の様子を追う

●作品の内容

生まれて間もなく聴覚を失った小畠由佳理さんは持ち前の明るさと優しい両親に支えられて、得意のスケッチの才能を開花させる。やがてスケッチ画家として、京都大阪滋賀などで個展を開くようになる。そんな優しい両親も高齢となり、介護に日々でスケッチする時間もなくなっていた。この夏、父親が他界。少し時間がでて、5年ぶりの新作スケッチの完成までと小畠さんを支える仲間のインタビューから小畠さんの人柄に触れていく内容。

9 「授業まであと5分」同志社大学 障がい学生支援室 (京都府) /2分32秒/2017年



●作品のテーマ あるあるのお話 エレベーター篇

●作品の内容

「エレベーターに人がいっぱい、車イスに乗っている方が利用できない」そんな場面に遭遇したことはありませんか？

10 「和歌山ろう学校被服科の～今物語～」^{いまものがたり} ピーチガールズ (和歌山県) /8分20秒/2017年



●作品のテーマ パワーポイントだけでアニメを作ろう！で出来た作品です。

●作品の内容

昔々、桃太郎が・・・と思いきや、なんと今の物語だった！？そして桃太郎はいっぱい出てくるし犬や猿やキジは出てこないし・・・？このお話はどうなってるの？楽しいコメディタッチのアニメです。是非見てね。

11 「おかだのぶらり旅」京都市聴覚言語障害センター・京都府聴覚言語障害センター



^{あおやましんいち} ^{なかやまあきと}
番組チーム 監督：青山真一・中山明人 /11分10秒/2017年

●作品のテーマ ろうリポーター岡田さんが大活躍、聴覚障害者映像バラエティー！

●作品の内容

ろうリポーター岡田さんの体験レポート。前回、蕎麦打ちにチャレンジした岡田リポーター、今回は生まれ故郷の滋賀県で身体と度胸を活かしたアレにチャレンジ。さて、どこにレポートに行くのでしょうか！？

第 14 回映像作品コンクール 応募作品リスト (3)

12 「国の選択無形民俗文化財『七夕綱』を作る地域で生きるろう者」



たなばたづな
 熊本県聴覚障害者情報提供センター 所長：小野康二^{おのこうじ}／25分40秒／2016年

- 作品のテーマ 地域に伝わる「七夕綱」の風習を守り続けるろう者と地域の人々
- 作品の内容 熊本の南部、山間の小さな集落に「七夕綱」というわら細工で作った七夕飾りの風習が残っており、その地域に住む七夕綱の名人はろう者。七夕綱作りの取材を通して、ろう者と地域の結びつきを追ったドキュメンタリー。

13 「つつうらうら～明るく楽しく生きる～」和歌山県聴覚障害者情報センター



まえだますい にしもとゆき
 監督：前田真須伊・西本有希／10分13秒／2017年

- 作品のテーマ 地域活動支援センター「紀州の手」^{きしゅうて}の取り組みを紹介します。
- 作品の内容 2015年12月に開所してから、丸2年を迎えようとしている地域活動支援センター「紀州の手」。現在の様子や開所までの取り組み、今後の展望などインタビューを交えながらお届けします。

14 「毎日登山 いつまでも～山村賢二さん～」兵庫県立聴覚障害者情報センター



やまむらけんじ
 監督：吉村真紀^{よしむらまき}／15分53秒／2017年

- 作品のテーマ 山村賢二の毎日登山への思いを伝える。
- 作品の内容 山村さんは、神戸発祥の文化「毎日登山」を続け66年。彼の登山には3つの柱を感じる。愛する自然を登ること、次に山で出会った仲間と登ること、そして自分自身を登ること。山村賢二のこれからも続く人生にエールを送る。

15 「元気いっぱい湖北みみの里へ」滋賀県立聴覚障害者センター



やすいゆうこ
 監督：安井悠子／10分9秒／2017年

- 作品のテーマ 仲間たちで支え合いながら明るく元気な拠点を作ることを目指している湖北みみの里です。
- 作品の内容 2016年10月にオープンした湖北みみの里には元気な仲間たちがいっぱい。仲間たちで支え合いながら、仕事をする事の大切さを実感しながら楽しくやっています。すてきな仲間たちと素晴らしい取り組みを紹介いたします。

16 「大阪ろうあ会館 40年のあゆみ」公益社団法人大阪聴力障害者協会／4分／2017年



- 作品のテーマ 拠点～大阪のろうあ者のいのちとくらしを守る砦～
- 作品の内容 大阪のろうあ者のいのちとくらしを守る砦である「大阪ろうあ会館」がオープンして2017年に40周年目を迎えました。2020年春に新たな地へ移りますが、私たちの大事な「拠点」を紹介します。

第14回映像作品コンクール 審査発表・表彰式・審査講評

1/21 (土) 15:30～ ハーディーホール

「大賞」「優秀賞」「奨励賞」
「学生部門奨励賞」「深川勝三・睦賞」
参加者の皆様による「会場特別賞」を発表します！



深川勝三・睦賞

第14回映像作品コンクール 審査員（敬称略、五十音順）

池田 和生（元KBS 京都放送ディレクター）
井上 泰治（映画監督、主な作品に「水戸黄門」「球形の荒野」「すもも」ほか）
今村 彩子（映画監督、Stadio AYA 代表）
大館 信広（映画監督、デフムービーエンターテインメントプロディヤ代表）
金山 智子（情報科学芸術大学院大学教授、同大学産業文化研究センター長）
蒲原 敏光（一般社団法人京都府聴覚障害者協会理事、劇団あしたの会）
津田 正夫（元立命館大学教授、元NHK チーフプロデューサー）
早瀬 憲太郎（映画「ゆずり葉」、「生命のことづけ」監督）
横地 由起子（京都シネマ支配人）

特別企画・ワークショップのご紹介

特別企画① 深川勝三監督作品上映 1/20 (土) 15:15～ ハーディーホール

 睦聾唾映画演劇研究会



1962 年度～1964 年度作品
DVD ビデオ 31 分（本編は 1 時間 50 分）
字幕スーパーあり／音響なし／
編集：おおだてのぶひろ
解説：たか しょうじ むつみ 高 正 次 氏（睦聾唾映画保存会 会長）
おおだて のぶひろ
進行：大館 信広（さかの映像祭実行委員）

←若い頃の深川監督（右）と高氏
（写真提供：睦聾唾映画保存会）

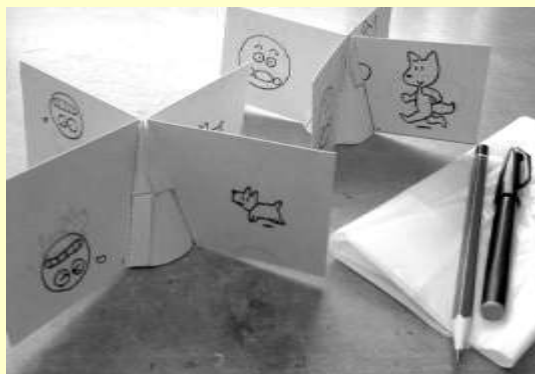
「手描きアニメの魅力」

1. 講演「手描きアニメの魅力」

アニメ映画『聲の形』に参加の作画スタッフの学生時代の貴重な作品や、当時のアニメの授業を解説します。手描きアニメの魅力を知ることによってアニメ鑑賞がさらに楽しめます。

2. 紙で作るアニメおもちゃ工作 (45分)

絵の描き方、自分の描いた絵が動く楽しさを体験できます。
(参加者には鉛筆とサインペン、持ち帰り用ビニール袋が付いています。)



せんこうじ よしかず
講師：千光士 義和 氏

プロフィール

アニメーション作家、嵯峨美術短期大学講師、専門学校アートカレッジ神戸講師、日本アニメーション協会会員、日本映像学会会員、著書「絵がうごくビックリおもちゃ (PHP刊)」他

特別企画②

ユニバーサル上映 1/21 (日) 13:00～ ハーディーホール

こえ かたち
映画 聲の形

日本語字幕
副音声付き上映

協力：京都リップル



©大今良時・講談社/映画聲の形製作委員会

●あらすじ

ガキ大将だった小学6年生の石田将也は、転校生の少女、西宮硝子へ無邪気な好奇心を持つ。「いい奴ぶってんじゃねーよ。」自分の想いを伝えられないふたりはすれ違い、分かり合えないままある日硝子は転校してしまう。

やがて5年の時を経て、別々の場所で高校生へと成長したふたり。

あの日以来、伝えたい想いを内に抱えていた将也は硝子のもとを訪れる。

「俺と西宮、友達になれるかな？」再会したふたりは、

今まで距離を置いていた同級生たちに会いに行く。

止まっていた時間が少しずつ動きだし、ふたりの世界は変わっていったように見えたが――。

●作品情報 2016年公開/129分/監督:山田尚子/原作:大今良時/配給:松竹株式会社